

「加齢と季節変動が脱水所見・尿濃縮能に及ぼす影響」に
ご参加いただいた皆様へ

独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター

当施設では倫理審査委員会の審査を受けて院長の許可を受けている「加齢と季節変動が脱水所見・尿濃縮能に及ぼす影響」を実施しております。本研究は 2023 年から行われている研究で、ご参加いただいた皆様より健康診断ならびに人間ドック受診結果と問診結果についての情報等を提供いただきました。

対象者に該当する可能性のある方またはその代理人で、臨床情報等を「加齢と季節変動が脱水所見・尿濃縮能に及ぼす影響」に関する研究で活用することを希望されない場合は、下記の連絡先にお問合せください。

また本研究に関する資料の閲覧をご希望の場合も下記の連絡先にお問合せください。

【研究「加齢と季節変動が脱水所見・尿濃縮能に及ぼす影響」について】

研究の名称	加齢と季節変動が脱水所見・尿濃縮能に及ぼす影響
当施設における研究責任者	独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター・健康管理センター 本間聡起
研究期間	倫理審査委員会承認後～2.5 年（情報の保存期間は 10 年間）
研究の目的	加齢に伴う機能低下の一つとして、高齢者では尿濃縮能の低下により、夜間や高温環境下の尿の生成を抑制する機能が低下するとされている。結果として、夜間頻尿や脱水状態に陥りやすく、熱中症のリスクが高齢者では増大するとされている。健康診断・人間ドック受診者は、検査実施に当たり、前日夜からの禁食または飲水制限を要求されるため、特に高齢者では、受診時に脱水状態になりやすいリスクがある。健康診断・人間ドック施設利用者における尿濃縮能の指標である尿比重と血液検査での脱水所見と気候変動との関連を年齢階層別に検討する。

活用、共有・提供する試料・情報の項目	2019～2022年度の4か年の健診・人間ドック受診者のデータのうち、問診事項（受診時年齢、性別、現病歴、既往歴、合併症、薬歴、飲酒量、喫煙歴、家族歴、運動習慣の有無、睡眠状態・時間）、身体計測値（身長、体重、腹囲）、検査結果（血液・尿検査結果）
活用、共有・提供する者の範囲と情報の二次利用について	本研究において収集された情報は、本研究のためのみに活用され、他の研究・事業に活用されることはない。
情報の活用、共有・提供を停止する権利	研究の遂行に際しては、研究者は匿名化情報のみを扱うこととするが、被登録者またはその代理人の求めに応じて、情報の活用、共有・提供を停止することができる。
情報の管理責任者	独立行政法人 地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター・健康管理センター 本間聡起